

1. 科目名 (単位数)	子ども家庭支援論 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP3125
2. 授業担当教員	西村 彩恵		
4. 授業形態	講義、ゼミナール形式、グループ活動、ディスカッション、演習、プレゼンテーション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	児童・家庭福祉論を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	子育て家庭に対する支援の意義と役割について理解し、保育士の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について、子どもの育ちの喜びを保護者と共有することや保護者自身の子育て実践力の向上に資する支援の重要性、保育士に求められる倫理観や受容的・共感的関わりのあり方などについて習得する。さらに、社会資源の活用や関係諸機関との連携、子育て家庭のニーズに応じた様々な支援の展開、近年の子育て支援の体制や施策についても理解を深める。		
8. 学習目標	現代の子育て家庭と子育て支援・家庭支援について理解し、説明することができる。 わが国の子育て支援政策について理解し、説明することができる。 保育所における子育て支援について理解し、説明することができる。 保育の場における相談・援助について理解し、説明することができる。 多様な子育て支援の場・人・活動について理解し、説明することができる。 ワークショップで学ぶ子育て支援について理解し、活用することができる。 社会に出た時に活用できる発想法や分析方法、スピーチ・プレゼンテーションなど具体的手法、スキルを授業の中で身につける。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	1. グループでの討議を含む授業の理解度を確認するため、授業内容を踏まえて考察した学習課題(宿題)を提出する(適宜実施予定)。授業実施状況により、小テストを実施する可能性がある。 2. 授業の学習成果(期末課題)として、レポート(「自分が考える子ども家庭支援について」)を作成する。 上記で示した課題の作成を通して、子ども家庭支援に対する理解を深め、論理的思考力や概念化能力、自己の見解を文章化する力などを培う機会とする。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】松本園子・永田陽子・福川須美・森和子著『実践 子ども家庭支援論』ななみ書房、2019 【参考書】松村和子編著『子ども家庭支援論』建帛社、2019 厚生労働省『保育所保育指針<平成 29 年告示>』フレーベル館 【教材】授業内でプリントを配布する。映像教材も適宜使用する予定。なお、配布プリントを綴じるファイルを用意したうえで、授業中に重要な点や事柄を配布プリントにメモしておき、予習・復習、課題提出の際に各自で活用すること。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 子ども家庭支援の全体像を講義やグループ討議を通して理解し、説明ができるようになる。 2. 相談援助の考え方と体系について理解し、説明することができるようになる。 3. 発想法や分析法など具体的な手法を活用することができる。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 授業への積極的参加 (ディスカッション・発表) 総合点の 20% 2. 日常の学習状況 (小テスト・小レポート・学外調査・提出物) 総合点の 30% 3. 課題レポート 総合点の 50%		
12. 受講生へのメッセージ	保育士は、子どもの成長を支援するだけでなく、子どもの一番身近な存在である家庭を支える役割を担うことも期待されている。現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況への理解(なぜ子育て家庭を支援することが重要なのか)を深めながら、子どもや子育て家庭の支援方法や関係機関との連携について考えていく。 授業を進めるにあたり、下記の 3 つの項目に留意すること。また、授業の進捗状況・理解度、受講者数に応じて、授業内容等を変更する場合がある。また、グループディスカッション・発表を適宜行うと同時に、Word やインターネット等を活用し課題を提出するため、各自の受講環境を出来る限り整備したうえで、真摯に学ぶ姿勢と主体的な参加が求められる。 1. 遅刻・欠席に注意し、やむを得ず欠席する(した)場合は、書面の提出またはメールにより教員に必ず届け出ること。遅延の場合は、遅延証明書を当日又は次回授業までに担当教員に必ず提出する。遅延の累積回数が多い場合は、遅延を認めないことがある。なお、本学の規定を十分に確認のうえ、出席状況の自己管理を徹底すること。 2. レポートなどの課題提出の期限を遵守すること。期限後提出は、減点対象となる。なお、期限後提出が継続する場合や大幅に時間が経過した後に課題を提出した場合は、課題を受理しないことがある。 3. 真摯に学ぶ姿勢や主体的な参加は前向きに受け止め、授業への貢献度として加味する。よって、地道に且つ根気強く取り組むことが重要となる。但し、私語や居眠り、学習テーマ以外の作業、(グループメンバー及び授業担当教員からの働きかけに回答しないなどの)グループ活動等の授業に関わる事柄での非協力的な姿勢、その他授業を妨げる行為は慎むこと。これら一連の受講態度は、減点対象となる。		
13. オフィスアワー	オフィスアワーは授業内でお知らせしますが、事前にメールでアポイントメントを取って下さい。 メールアドレス: sanishim@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション: 授業の進め方について 子ども家庭支援の意義と必要性	事前学習	シラバスを熟読し、教科書 pp. 9~21、pp. 115~123 を事前に読み、子ども家庭支援の意義と必要性について考えておく。

		事後学習	授業内容をふり返り、子ども家庭支援の意義と必要性について自分の考えをまとめる。
第2回	子ども家庭支援の目的と機能	事前学習	教科書 pp.23～29 を事前に読み、子ども家庭支援の目的と機能について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、子ども家庭支援の目的と機能について自分の考えをまとめる。
第3回	保育士による子ども家庭支援の意義と基本	事前学習	教科書 pp.30～41 を事前に読み、保育士による子ども家庭支援の意義と基本について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、保育士による子ども家庭支援の意義と基本について自分の考えをまとめる。
第4回	保育の特性と保育士の専門性を生かした子ども家庭支援	事前学習	教科書 pp.42～47 を事前に読み、保育の特性と保育士の専門性を生かした子ども家庭支援について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、保育の特性と保育士の専門性を生かした子ども家庭支援について自分の考えをまとめる。
第5回	保護者の相互理解と信頼関係の形成	事前学習	保育所保育指針を事前に読み、保護者の相互信頼と信頼関係の形成について情報収集して考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、保護者の相互理解と信頼関係の形成について自分の考えをまとめる。
第6回	保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援	事前学習	保育所保育指針を事前に読み、保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援について自分の考えをまとめる。
第7回	家庭の状況に応じた支援と子ども家庭支援の内容・対象	事前学習	教科書 pp.25～29、保育所保育指針を事前に読み、家庭の状況に応じた支援と子ども家庭支援の内容・対象について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、家庭の状況に応じた支援と子ども家庭支援の内容・対象について自分の考えをまとめる。
第8回	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力	事前学習	教科書 pp.49～51、p.65、pp.124～148 を事前に読み、地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力について自分の考えをまとめる。
第9回	子育て家庭の福祉を図るための社会資源	事前学習	教科書 pp.89～109 を事前に読み、子育て家庭の福祉を図るための社会資源について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、子育て家庭の福祉を図るための社会資源について自分の考えをまとめる。
第10回	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	事前学習	教科書 pp.79～88、pp.110～114 を事前に読み、子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進について自分の考えをまとめる。
第11回	保育所等を利用する子どもの家庭への支援	事前学習	教科書 pp.51～58 を事前に読み、保育所等を利用する子どもの家庭への支援について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、保育所等を利用する子どもの家庭への支援について自分の考えをまとめる。
第12回	地域の子育て家庭への支援	事前学習	教科書 pp.58～71、pp.98～100 を事前に読み、地域の子育て家庭への支援について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返り、地域の子育て家庭への支援について自分の考えをまとめる。
第13回	要保護児童等及びその家庭に対する支援	事前学習	教科書 pp.71～78、pp.100～101、pp.106～

			107 を事前に読み、要保護児童等及びその家庭に対する支援について考えておく。
		事後学習	授業内容をふり返し、要保護児童等及びその家庭に対する支援について自分の考えをまとめる。
第14回	子ども家庭支援に関する課題と展望	事前学習	これまでの授業内容をふり返し、子ども家庭支援に関するレポート作成に向けて、各回の授業内容を整理する。
		事後学習	授業内容をふり返し、子ども家庭支援に関する課題と展望について自分の考えをまとめる。
第15回	全体の総括	事前学習	第1回～第14回までの授業内容をふり返し、子ども家庭支援に関するレポート作成に備える。
		事後学習	第15回までの授業内容をふり返し、子ども家庭支援における自分の考えをまとめる。
期末試験			